

株式会社JRC

(東証グロース:6224)

2027年2月期 第1四半期 決算説明資料

2026年7月

<ご注意>

本資料中の業績予想ならびに将来予想は、現在入手可能な情報に基づき、当社の判断により一定の前提の下に作成されており、リスクや不確定要素等の要因が含まれています。そのため、事業環境の変化などのさまざまな要因により、これら会社の将来情報と実際の業績とは大きく乖離する可能性があります。



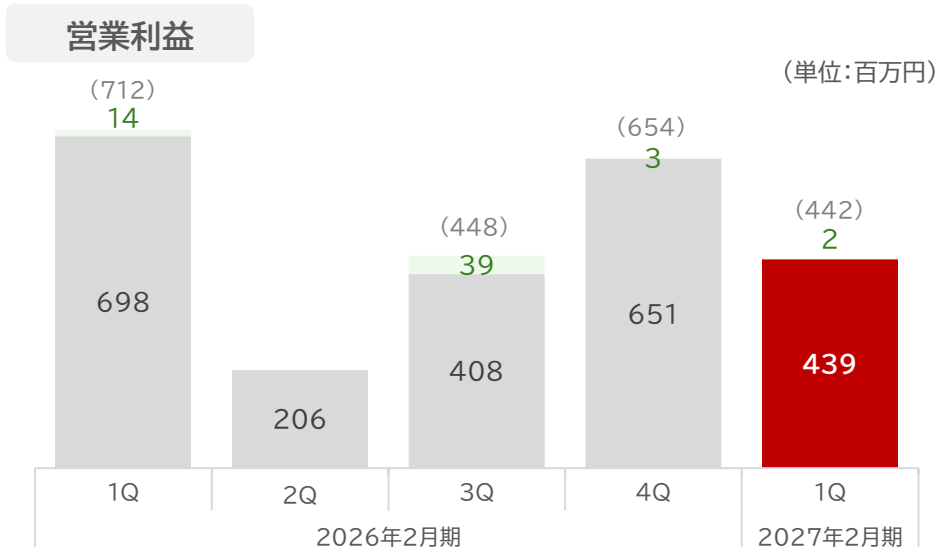
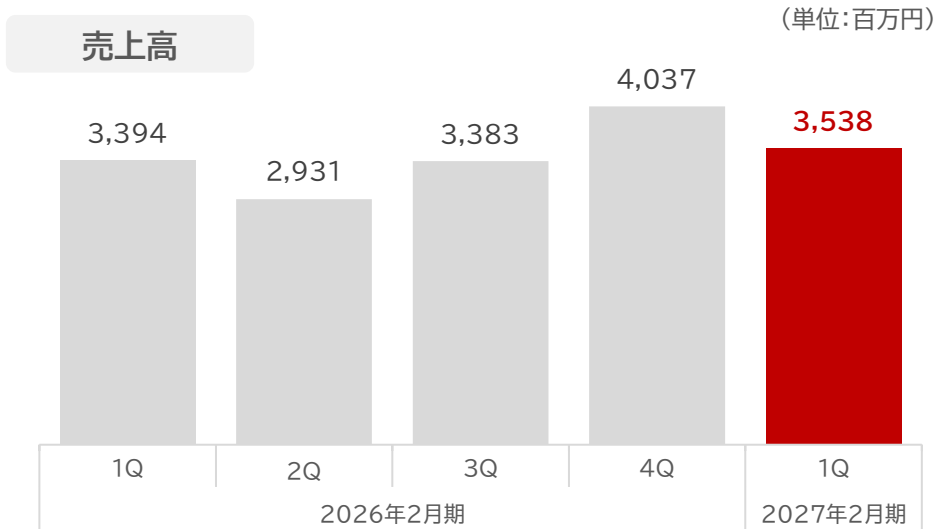
JAPAN
ROLLER
CORPORATION

エグゼクティブサマリー

第1四半期 実績		前年同期比	
	売上高		・ 売上高3,538百万円(前年同期比+4.2%)、営業利益439百万円(同△37.0%) ・ コンベヤ事業が安定的に推移したことに加え、ロボット事業の伸長により売上高は前年同期比で増加 ・ 前年同期の環境エネルギー事業における一時的な利益押し上げ要因の反動が影響し、営業利益は前年同期比で減少
	営業利益		
コンベヤ カンパニー		前年同期比	
	売上高		・ 前期に引き続きリプレイス需要が好調に推移するとともに、更新需要が復調 ・ 将来の成長に向けた海外費用や人的資本への投資など、販管費が増加
	営業利益		
環境エネルギー カンパニー		前年同期比	
	売上高		・ 売上高は概ね堅調に推移したものの、一部案件のリカバリー費用の発生により、収益性が低下 ・ 前年同期の高橋汽罐工業の好業績の反動により、営業利益は前年同期比で減少
	営業利益		
ロボットSI カンパニー		前年同期比	
	売上高		・ 複合ライン案件の構成比が高まり、案件規模の大型化が進み、売上利益ともに前年同期を上回る ・ 一方、案件の大型化に伴い、一部案件の売上計上が翌四半期以降へ期ズレ
	営業利益		

2027年2月期 第1四半期決算概要

連結業績ハイライト



売上高

事業計画 3,631百万円 達成率 97.5%

3,538百万円

前年同期比 +4.2% (+144百万円)

営業利益

事業計画 492百万円 達成率 89.3%

439百万円

前年同期比 Δ37.0% (Δ258百万円)

M&A費用を除く営業利益 442百万円 Δ37.9% (Δ270百万円)

売上高3,538百万円(前期比+4.2%)、営業利益439百万円(同Δ37.0%)と増収減益も前期第1四半期の一時的な利益押し上げ要因を除けば、概ね前年並みの水準で推移

連結損益計算書



(単位:百万円)

	2026年2月期					2027年2月期	前年同期比	計画比
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q		
売上高	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	3,538	+4.2%	97.5%
売上総利益	1,401	894	1,144	1,438	4,879	1,179	△15.8%	88.7%
売上総利益率	41.3%	30.5%	33.8%	35.6%	35.5%	33.3%	△8.0Pt	—
営業利益	698	206	408	651	1,964	439	△37.0%	89.3%
営業利益率	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	12.4%	△8.2Pt	—
経常利益	670	198	394	641	1,904	427	△36.3%	88.7%
当期純利益	516	112	270	523	1,423	293	△43.2%	88.9%
EBITDA	802	312	513	775	2,404	545	△32.0%	90.9%
調整後EBITDA※	816	312	553	779	2,461	548	△32.9%	91.3%

当期1Qの営業利益は、前年同期における一時的な利益押し上げ要因および売上前倒し計上の反動により前年同期を下回ったものの、これらの影響を除けば堅調に推移

※調整後EBITDA=EBITDA+M&A費用

2027年2月期 第1四半期決算概要

カンパニー別業績



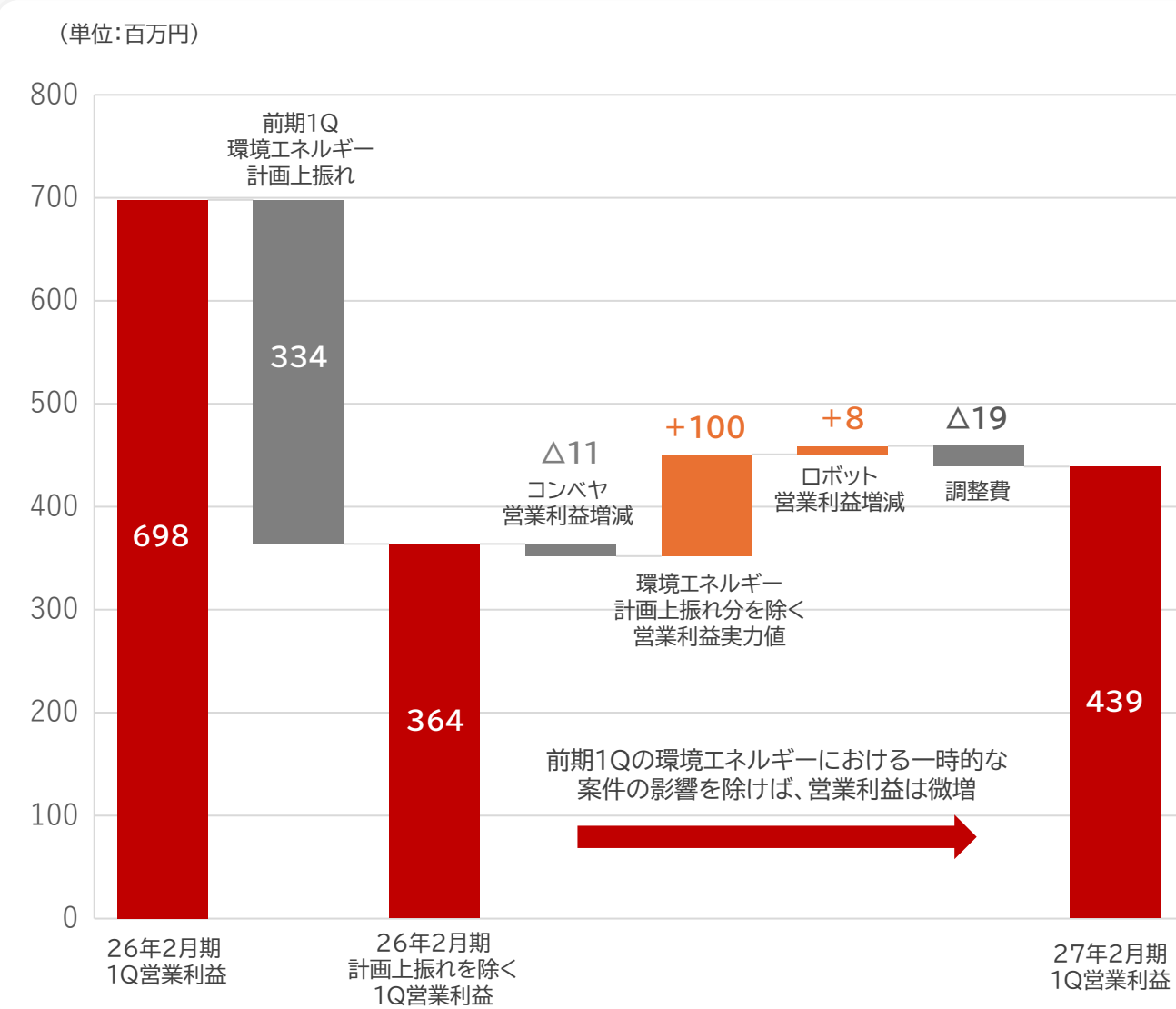
(単位:百万円)

			2026年2月期					2027年2月期	前年同期比	計画比
			1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q		
売	上	高	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	3,538	+4.2%	97.5%
	コ	ンバヤ	1,880	1,819	2,018	2,228	7,946	1,939	+3.1%	98.0%
	環	境エネルギー	1,178	817	931	1,590	4,517	1,188	+0.9%	99.9%
	口	ボットS I	366	309	473	269	1,419	430	+17.3%	87.2%
		調整額	△31	△14	△40	△51	△136	△19	+11	—
営	業	利益	698	206	408	651	1,964	439	△37.0%	89.3%
		(率)	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	12.4%	△8.2Pt	—
	コ	ンバヤ	463	394	515	594	1,967	451	△2.5%	101.7%
		(率)	24.6%	21.7%	25.5%	26.7%	24.8%	23.3%	△1.3Pt	—
	環	境エネルギー	422	12	47	282	766	187	△55.6%	81.8%
		(率)	35.9%	1.5%	5.1%	17.8%	17.0%	15.8%	△20.1Pt	—
	口	ボットS I	43	△1	39	△3	78	51	+18.4%	77.3%
		(率)	11.9%	—	8.3%	—	5.5%	12.0%	+0.1pt	—
		調整額	△231	△199	△194	△222	△847	△251	△19	—

環境エネルギー事業の営業利益は、前期の一時的な利益押し上げ要因の反動により、前年同期比で減少

※各カンパニー名は省略して表記しています ※カンパニー制への移行により、従来コンベヤに含めていた高橋汽罐工業は環境エネルギーへ組み替えております

第1四半期 営業利益の増減要因分析



■ 前期第1四半期 環境エネルギーの計画上振れ +334

前期第1四半期は、環境エネルギーにおいて利益率の高い突発的なメンテナンス案件が発生したことにより、営業利益は計画比で334百万円上振れました。

■ コンベヤ 営業利益 △11

計画に対しては達成したものの、将来の成長に向けた人材採用・人件費の増加に加え、ベトナム工場立ち上げに伴う海外活動費・旅費交通費の増加など、先行投資を実施したことにより前年同期比で減少しました。

■ 環境エネルギー 計画上振れを除く営業利益実力値 +100

高橋汽罐工業は当期より環境エネルギーカンパニーへ統合し、セグメント変更しております。前期1Qの利益率の高い突発案件の反動が前年同期比に影響しておりますが、当該上振れ分を除く営業利益は前年同期比+100百万円と、堅調に推移しております。

※各カンパニー名は省略して表記しています

KPI実績



(単位:百万円)

		2026年2月期					2027年2月期	計画	進捗率
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q		
全社	売上高	3,394	2,931	3,383	4,037	13,746	3,538	15,099	23.4%
	営業利益	698	206	408	651	1,964	439	1,965	22.4%
	営業利益率	20.6%	7.0%	12.1%	16.1%	14.3%	12.4%	13.0%	—
	ROE	—	—	—	—	27.2%	—	20.1%	—
コンベヤ	ソリューション売上高	479	424	440	498	1,842	439	1,924	22.8%
	ソリューション売上高比率※	27.4%	24.9%	22.5%	24.4%	24.7%	23.2%	24.1%	—
環境エネルギー	受注高	1,393	738	1,424	752	4,308	1,299	5,400	24.1%
	カンパニー利益	422	12	47	282	766	187	947	19.8%
ロボットSI	受注高	182	364	527	171	1,246	293	2,000	14.7%
	カンパニー利益	43	△1	39	△3	78	51	146	35.2%

※ソリューション売上高比率=国内ソリューション売上高÷国内売上高 ※各カンパニー名は省略して表記しています

第1四半期連結業績の進捗・達成率

進捗率・達成率

(単位:百万円)

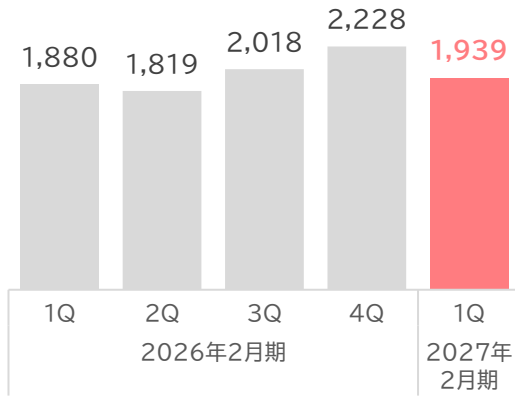


	計画	進捗率 (1Qは達成率)
1Q	3,631	97.5%
上期	7,185	49.3%
通期	15,099	23.4%
1Q	492	89.3%
上期	877	50.2%
通期	1,965	22.4%
1Q	482	88.7%
上期	856	49.9%
通期	1,914	22.3%
1Q	330	88.9%
上期	583	50.3%
通期	1,251	23.4%

コンベヤカンパニー 第1四半期業績ハイライト

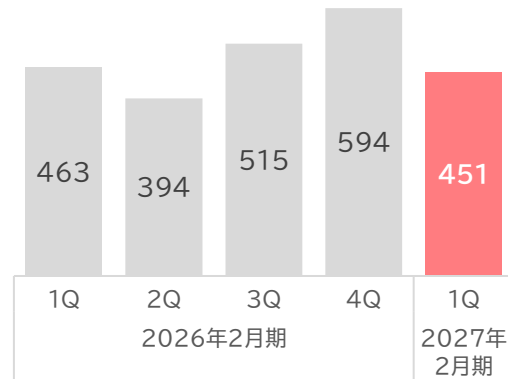
売上高

(単位:百万円)



カンパニー利益

(単位:百万円)



売上高

1,939百万円

事業計画

1,980百万円

達成率

98.0%

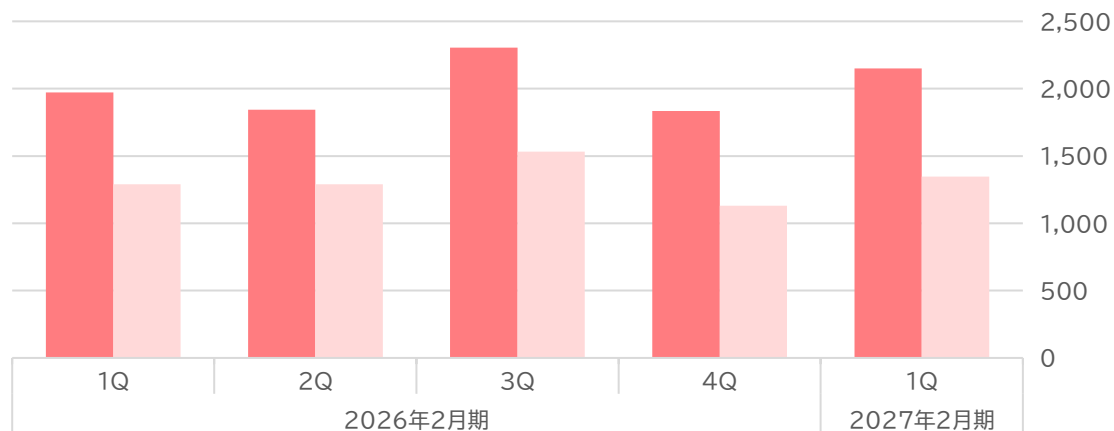
前年同期比(増減)

+3.1% (+59百万円)

受注状況

■受注高 ■受注残高

(単位:百万円)



カンパニー利益

451百万円

事業計画

444百万円

達成率

101.7%

前年同期比(増減)

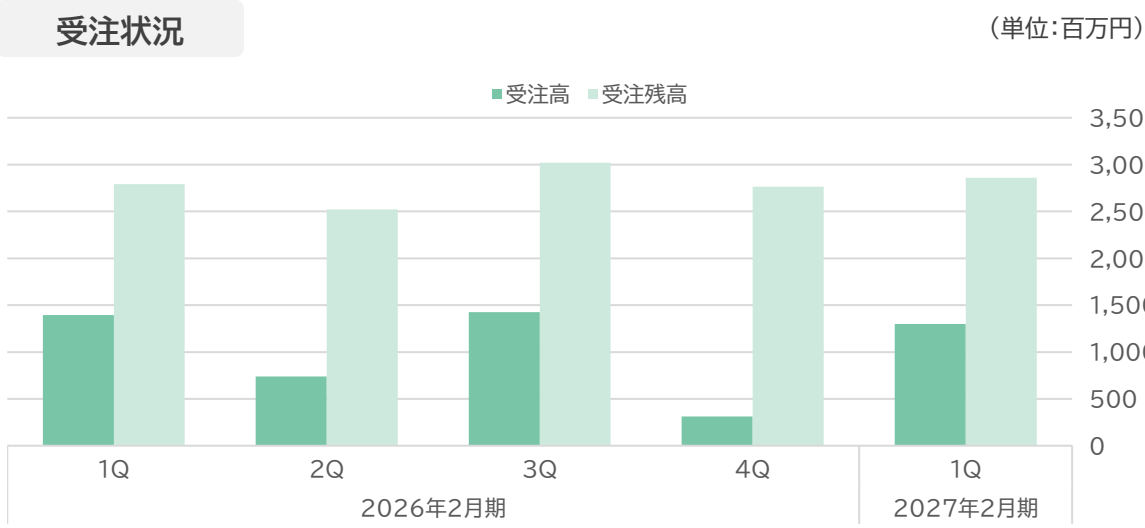
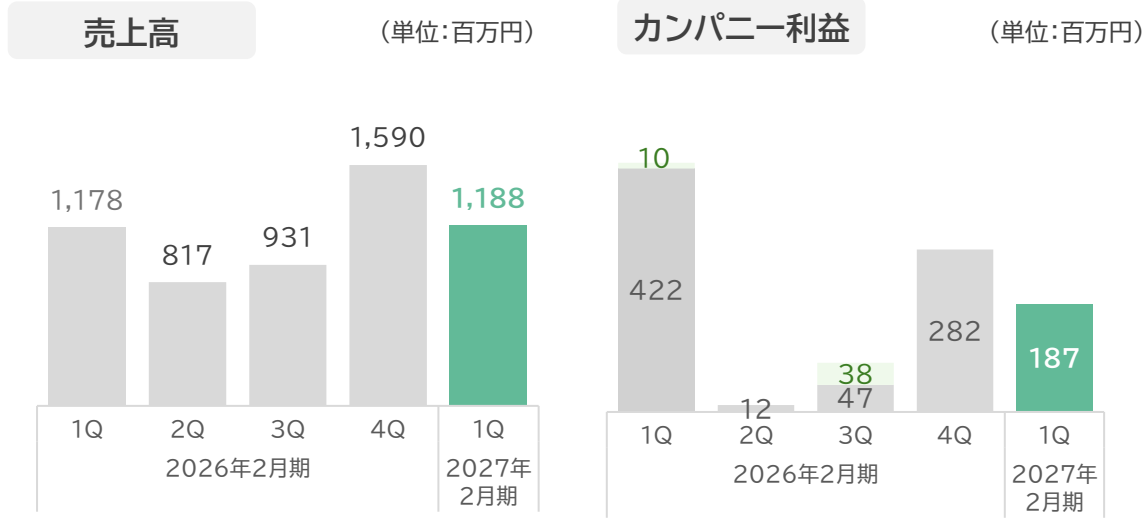
△2.5% (△11百万円)

M&A費用を
除く営業利益

—

- ・工事・新設案件が低調に推移し、売上高は計画を下回るも利益は計画達成
- ・将来の成長に向けた海外費用や人的資本への投資など、販管費が増加

環境エネルギーカンパニー 第1四半期業績ハイライト



売上高

1,188百万円

事業計画

1,189百万円

達成率

99.9%

前年同期比(増減)

+0.9% (+10百万円)

カンパニー利益

187百万円

事業計画

229百万円

達成率

81.8%

前年同期比(増減)

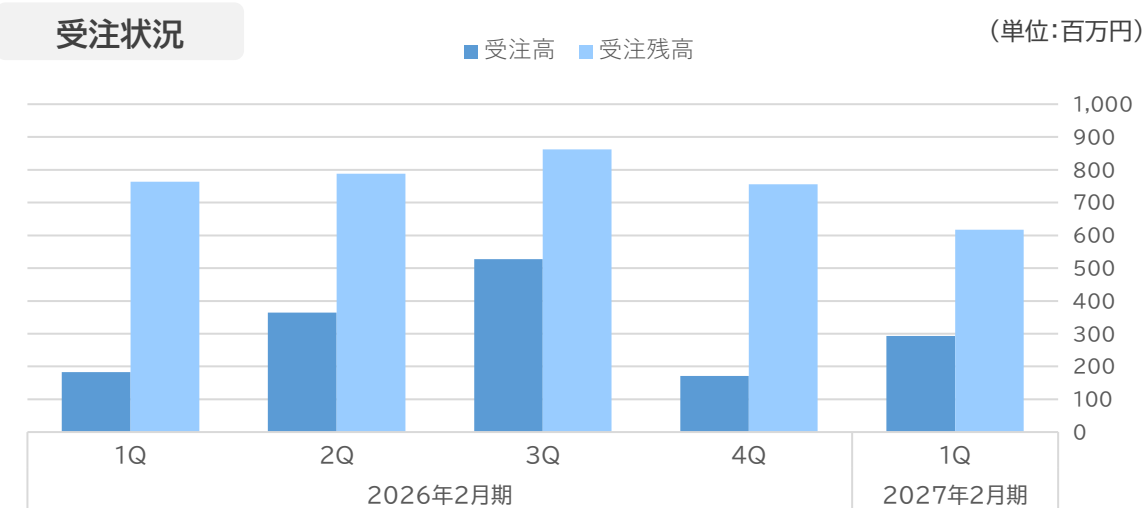
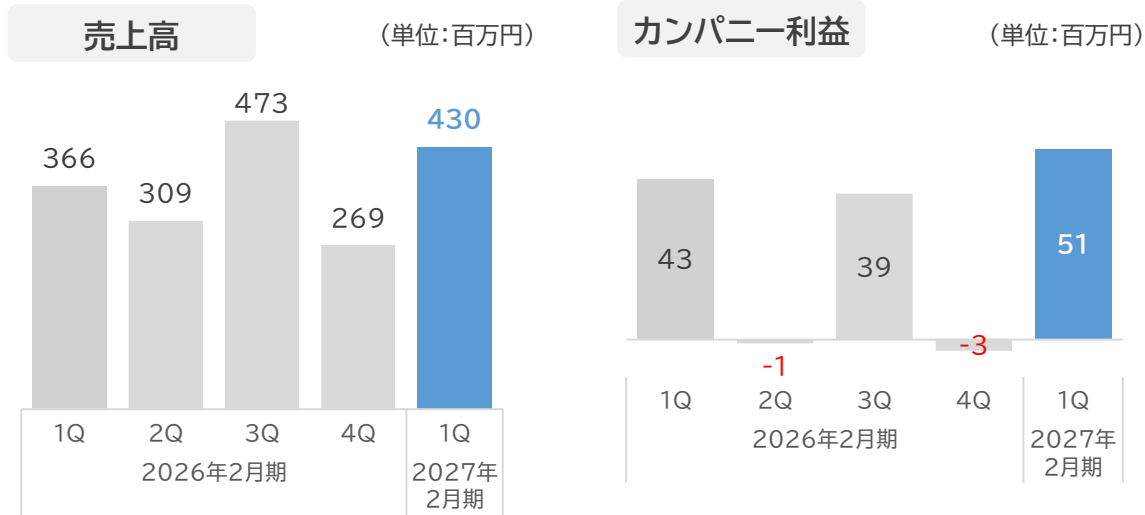
△55.6% (△234百万円)

M&A費用を除く営業利益

—

- ・前期の一時的な利益押し上げ要因の反動で、営業利益は前年同期比で減少
- ・一部案件におけるリカバリー費用の増加等により利益は計画未達

ロボットSIカンパニー 第1四半期業績ハイライト



売上高

430百万円

事業計画 達成率

493百万円 87.2%

前年同期比(増減)

+17.3% (+63百万円)

カンパニー利益

51百万円

事業計画 達成率

66百万円 77.3%

前年同期比(増減)

+18.4% (+8百万円)

M&A費用を除く営業利益

—

・案件の大型化が進み、売上高・営業利益ともに前年同期を上回る

・一部案件において期ずれが発生し、売上高・営業利益ともに計画は未達

連結貸借対照表

(単位:百万円)	資 産	2026年2月末	2026年5月末	増減額	主な増減要因
	流動資産	8,076	7,920	△155	売掛金の減少
	うち、現金及び預金	2,585	2,615	+30	
	固定資産	5,234	5,146	△87	繰延税金資産、機械装置及び運搬具の減少
	有形固定資産	3,592	3,557	△35	
	無形固定資産	860	831	△28	
	投資その他資産	781	756	△24	
	資産合計	13,310	13,066	△243	
	負 債				
	流動負債	3,773	3,709	△63	支払手形及び買掛金の減少
	うち、1年内返済予定の 長期借入金	785	782	△2	
	うち、短期借入金	250	500	+250	
	固定負債	3,698	3,450	△248	繰延税金負債の減少
	うち、長期借入金	3,350	3,151	△199	
	負債合計	7,471	7,159	△311	
	純資産				
	純資産合計	5,838	5,906	+68	親会社株主に帰属する四半期純利益の計上
	自己資本比率	43.9%	45.2%	+1.3pt	
	Net Debt／EBITDA	0.75x	0.85x	+0.1	
	流動比率	214.1%	213.5%	△0.6pt	

2027年2月期 連結業績予想

2027年2月期連結業績の見通し

(単位:百万円)

	2025年 2月期実績	2026年 2月期実績	2027年2月期			前期比	
			上期	下期	通期予想	増減額	増減率
売上高	11,064	13,746	7,185	7,914	15,099	+1,353	+9.8%
売上総利益	3,999	4,879	2,565	2,740	5,305	+426	+8.7%
売上総利益率	36.1%	35.5%	35.7%	34.6%	35.1%	△0.4pt	—
営業利益	1,375	1,964	877	1,088	1,965	+1	+0.1%
営業利益率	12.4%	14.3%	12.2%	13.8%	13.0%	△1.3pt	—
経常利益	1,404	1,904	856	1,058	1,914	+10	+0.5%
当期純利益	1,078	1,423	583	667	1,251	△172	△12.0%
E B I T D A	1,647	2,404	1,103	1,360	2,463	+59	+2.5%

2027年2月期カンパニー別業績の見通し

(単位:百万円)

		2026年2月期	2027年2月期			前期比	
			上期	下期	通期予想	増減額	増減率
売上高		13,746	7,185	7,914	15,099	+1,353	+9.8%
	コンベヤ	7,946	4,080	4,229	8,309	+363	+4.5%
	環境エネルギー	4,517	2,251	2,880	5,131	+614	+13.6%
	ロボットS I	1,419	916	870	1,787	+368	+25.9%
	連結調整	△136	△62	△65	△128	+8	—
営業利益		1,964	877	1,088	1,965	+1	±0
	コンベヤ	1,967	925	866	1,792	△175	△8.9%
	環境エネルギー	766	346	658	1,004	+238	+31.1%
	ロボットS I	78	99	47	146	+68	+87.2%
	全社費用	△847	△494	△483	△978	△131	—

※各カンパニー名は省略して表記しています ※カンパニー制への移行により、従来コンベヤに含めていた高橋汽罐工業は環境エネルギーへ組み替えております

KPI計画

(単位:百万円)

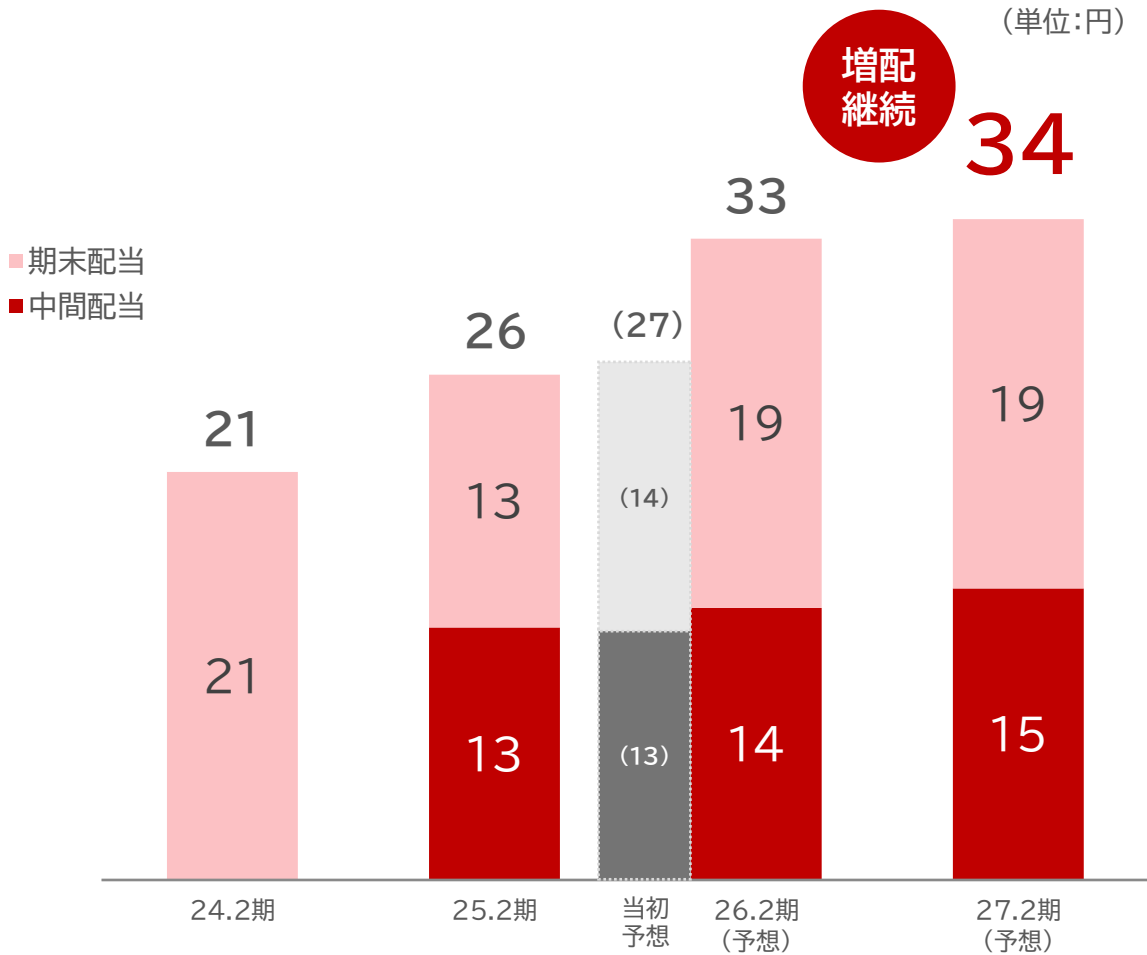
		2025年2月期 実績	2026年2月期				2027年2月期 計画
			修正計画	実績	達成率		
全社	売上高	11,064	13,450	13,746	102.2%		15,099
	営業利益	1,375	1,830	1,964	107.4%		1,965
	営業利益率	12.4%	13.6%	14.3%	—		13.0%
	ROE	25.7%	22.8%	27.2%	—		20.1%
コンバヤ	ソリューション売上高	1,503	1,691	1,842	108.9%		1,924
	ソリューション売上高比率	20.0%	22.6%	24.7%	—		24.1%
環境エネルギー	受注高	2,674	4,600	4,308	93.7%		5,400
	カンパニー利益	343	674	766	113.6%		1,004
ロボットSI	受注高	1,045	1,621	1,202	74.2%		2,000
	カンパニー利益	25	94	78	83.6%		146

※各カンパニー名は省略して表記しています ※カンパニー制への移行により、従来コンバヤに含めていた高橋汽罐工業は環境エネルギーへ組み替えております

株主還元

1株あたり配当金の推移と見通し

(単位:円)



配当予想

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定した配当を行うことを基本方針としております。

2027年2月期の配当金につきましては、
1株当たり中間配当15円、
期末配当19円(うち創業65周年記念配当4円)とし、
年間34円を予定しております。

Appendix

コンベヤカンパニー：ソリューション活動について

環境の変化と、「安全」×「稼働」の両輪

人手不足：保全人員の不足、熟練技術者の減少

安全意識：労働災害防止、安全規制強化

設備老朽化：高経年化、突発停止リスクの増加

生産性向上：清掃・保全工数削減、安定操業



従業員の安全を守りつつ、稼働を止めないことが
今のコンベヤ業界に求められている

安全

×

稼働

コンベヤ事業におけるビジネスモデルの進化

- 従来モデル：単品・更新需要が中心
コンベヤ部品（ローラ、プーリ等）の部品販売／
数量×単価の積み上げ

- 現在のモデル：ソリューションモデル



→ 機能製品 + 工事 + 保全

顕在化した課題を解決する

課題解決製品【ソリューション製品】

の需要が拡大中



コンベヤカンパニー：ソリューション活動について

実際の事例

■ 改善前



回転体への接触の可能性があり、深刻な巻き込まれ事故に発展する恐れ



落鉱物の堆積した山が発生し、清掃のための人員を補充しなければならない



建屋屋根上に大量の落鉱が発生し、搬送物の大幅なロス・作業の手戻りが発生

■ 改善後

安全



むき出しであったローラへの接触が制限され、巻き込まれ事故の防止に

人員削減



頻繁な清掃の必要がなくなり、その時間を他の作業に回すことが可能に

生産性向上

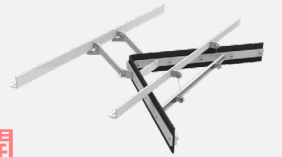


ソリューション製品によって搬送物のロスが大幅に減り、コンベヤ全体の生産性が向上

ソリューションによる競争優位

- 高付加価値案件の拡大：単価・粗利率の上昇
- 顧客接点の深化：現場コンサルによる高い参入障壁
- ストック性：メンテナンス受注による安定収益
- 他社との差別化：単品売り他社が踏み込めない領域

今後の展開



【国内】ソリューション提案の水平展開

強固な顧客基盤を背景に、保守・工事領域のシェアを拡充

【海外】ASEANを中心とした拡大

国内で培った高付加価値モデルを、ベトナムを拠点にASEAN各国の成長市場へ展開

コンベヤカンパニー：海外事業に関するトピックス

ベトナム

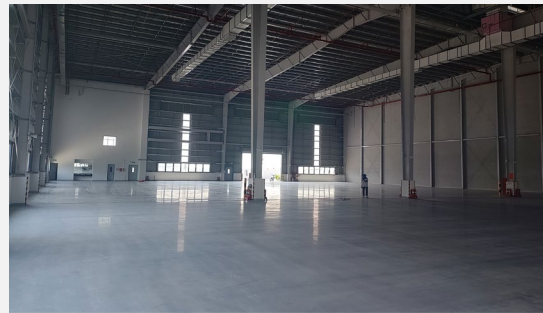


● 現地法人設立手続き及び出資が完了

ベトナム現地法人の設立手続き及び出資が完了しました。

近年の東南アジア地域における搬送設備需要の拡大や現地調達ニーズの高まりにより、より迅速で市場に近いサプライチェーン体制の構築が課題となっております。

この環境変化に対応するため、当社はベトナムに新会社を設立し、ベトナム国内及び東南アジア諸国へのタイムリーな供給が可能となり、さらに北米を含むグローバル市場への輸出体制の強化にも資するものと考えております。



● ベトナム社員を対象に研修実施

ベトナム工場の本格稼働に向け、本社工場・大阪本社にてベトナム社員への研修を実施いたしました。日本での製造工程や品質基準を直接体験いただき、現地の業務体制づくりに反映頂く予定です。

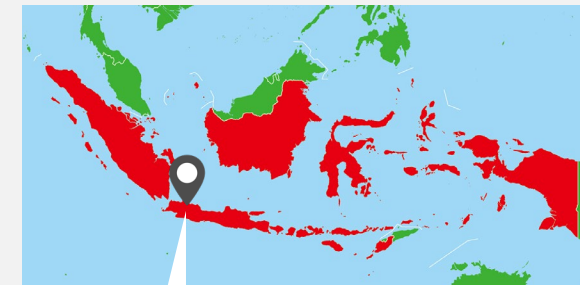


インドネシア



● 駐在員事務所を開設

インドネシア共和国は著しい経済成長を背景に、インフラ整備や資源関連産業への投資が継続的に拡大しております。コンベヤ関連部品市場においても、更なる需要拡大が見込まれ、こうした環境下において、現地市場の動向把握や顧客・案件情報の収集を強化するために、駐在員事務所を開設いたしました。



名 称：株式会社JRCインドネシア駐在員事務所

所 在 地：インドネシア ジャカルタ

事業内容：コンベヤ関連事業に関する市場調査、現地情報の収集、マーケティング活動等

設 立 日：2026年6月

環境エネルギーカンパニー：3社合併によるシナジーの事例

3社合併によるシナジーの加速



高橋汽罐工業

JRCC&M
JRCコンベヤ&メンテナンス

JRC C&M

セイコーテック
SEIKOTEC

セイコーテック

合併

JRC E&E
エンバロメント&エネルギー

- ・従業員数 **150名規模** のエンジニアリング会社に
- ・3社の拠点、顧客基盤・販売網、協力会社を統合

人員体制強化と基盤統合で
受注機会と案件規模を拡大

実際の事例 ～3社の力を集結した工事案件～

本案件は、バイオマス発電所のダスト搬出工事の施工となります。

- 小野工場（旧JRC C&M）：設計・マテハン機器製作
- 福島工場（旧東陽工業）：巨大貯留槽・架台制作
- 高橋汽罐工業：据付

各社の得意領域を持ち寄り、設計から据付までワンストップでの対応が実現。
顧客からの評価も高く、同工場の他案件も受注に至りました。



ロボットSIカンパニー：複合ライン提案について

石井食品株式会社様への複合ライン導入事例

内容:製品を帯掛機へ投入、段ボール箱詰め、封函後の段ボールをパレットへ積み重ね

BEFORE

帯掛機投入

箱詰め

パレタイズ



従来は複数工程を
4～5名で手作業

AFTER

帯掛機投入／箱詰め／パレタイズ



JRCにて
一括提案・一括対応
2～3名の省人化

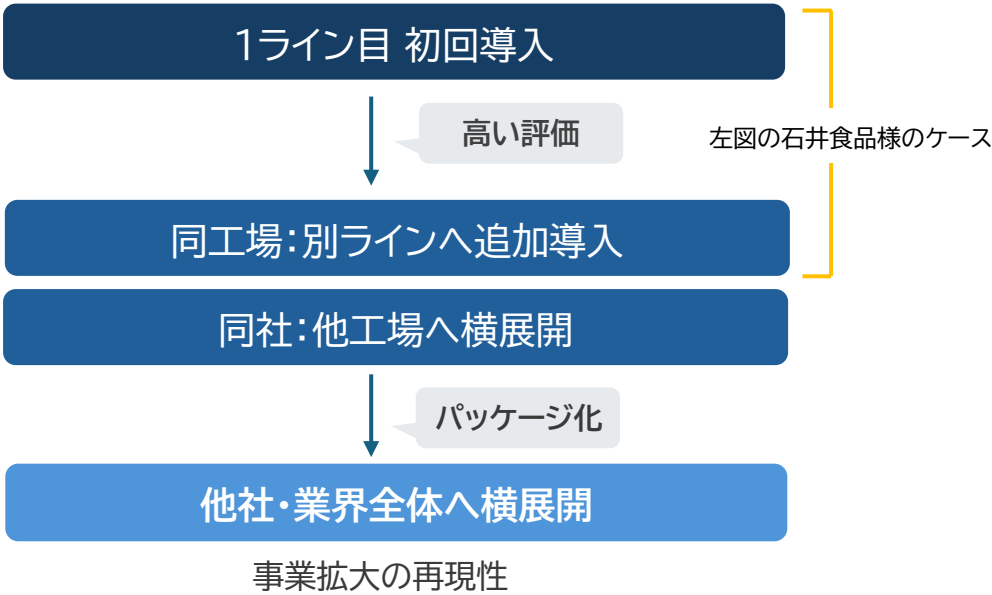


QRコードから実際の稼働の様子をご覧くださいませ

複合ライン提案のメリット

顧客側のメリット	当社側のメリット
部分最適ではない全体最適の実現	案件単価及び付加価値の向上
導入・保守窓口の一本化	高い参入障壁の構築

成功事例の「横展開」





ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人に見やすく読みまちがえにくいデザインの文字を採用しています。